

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

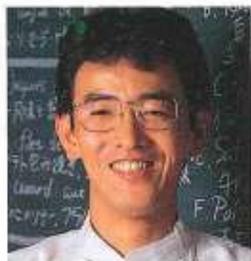
# えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL. 13 NOVEMBER 1994 EKUTEBIAN〉

11



まい あーと ■ 墨遊画 「水を汲む女」 by 酒井昭尚



このコーナーでご紹介した中で最も若いシェフの登場である。渡辺達也さん、30才。柴崎町3丁目「ラ・フィネ」のシェフを務める。

今回の料理に使われた赤座海老は伊勢海老ほどポピュラーではないものの、比較的手に入りやすく味も決してひけをとらない。「美味しい素材をできるだけ安く、カジュアルに味わってもらう」ために、従来のフランス料理のイメージにはまったくこだわらない。むしろ既成の形からはみ出す事を楽しんでいるかの様。ただ、全粒粉のパンだけは、粉をねる所から始まって焼き上げるまで、他の者にはいっさい触れさせないといった昔気質の面も。若い反骨のエネルギーと職人としてのこだわりを併せ持つ渡辺さんの味を求めて、今夜も「ラ・フィネ」には若者たちが集まる。

撮影：五来孝平



おしゃれ、上手に  
 婦人服直輸入SHOP  
 ほねいせはろく  
 柴崎町2-9-28 KFビル2F  
 TEL 24-1610

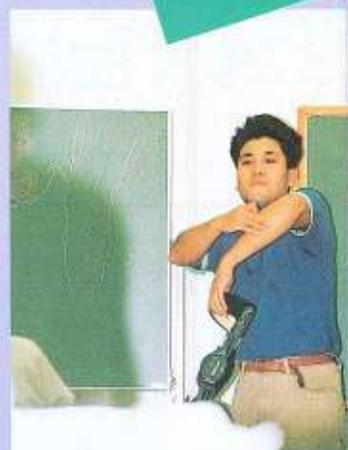
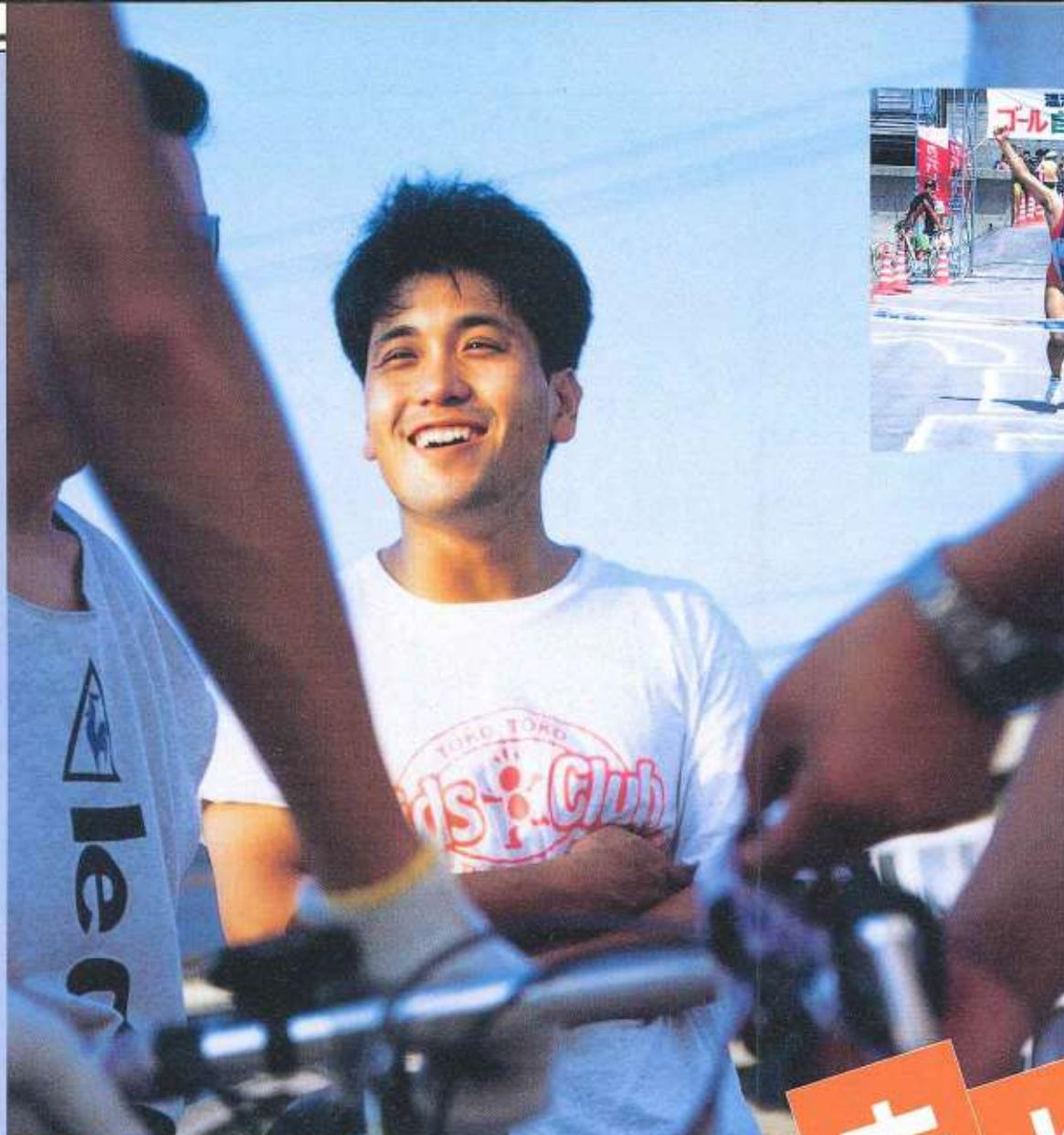


# 渡辺達也の

*Langoustine fumé et pain conprait*

赤座海老の瞬間スモークと全粒粉のパン





走れ!

「新しい足」に

夢のせて

えくてびあん  
レポート

肉体と精神の限界を極め、現存するスポーツの中で最も過酷といわれるトライアスロン。

内田充彦さん(曙町・28才)は、7月に山形県温海町で開催された「サンセットビーチ・トライアスロン」に初出場。途中、自転車のバンクに悩まされながらも、243位で見事、完走を果たした。

内田さんの職業は義肢装具士。事故や病気で、止むを得ず足を失ってしまった人たちのために、「新しい足」を造り与えるのが、彼の仕事である。義足でスポーツを楽しめるようにとその研究開発に余念なく、ハンディ・スポーツの在り方について海外の研究者たちとも討論を重ねる。「切断者スポーツクラブ」発足の夢に向かい走りはじめた、若き研究者、内田さん。

言い忘れたことがある。内田さん自身も「新しい足」を持っているひとりである。

うちのやブルマン 羽衣町1-18-17 ☎24-9280	三田 花 店 錦町2-5-23 ☎24-4187	東京靴流通センター 砂川町1-50-4 ☎37-3641
立川 商 店 羽衣町2-30 ☎22-3565	セガミ薬局 錦町2-7-8 ☎25-9212	JA経済センター 立川店 砂川町2-44-3 ☎36-1824
みずほ 弁 当 羽衣町2-3 ☎22-9597	マルミヤスポーツ 錦町2-7-8 ☎22-2912	JA東京みどり 立川支店 砂川町2-44-3 ☎36-1821
赤松タバコ店 羽衣町2-42 ☎24-7852	そば 高尾亭 錦町5-5-31 ☎22-2710	ビジネスホテル クボタ 柴崎町2-12-23 ☎22-1122
中島豆腐店 羽衣町2-12-34 ☎22-5723	BSタイヤショップ 佐藤商会 幸町5-10-2 ☎37-0912	中華料理 みよし 柴崎町2-10 ☎25-3873
和風レストラン 萬屋 羽衣町2-27-9 ☎26-3698	いなげや 立川幸店 幸町1-23-6 ☎37-1820	石原 薬 局 柴崎町2-10-3 ☎23-4067
ヤマザキテイルストア 立川駅前店 柴崎町2-46-3 ☎36-8285	ロッテリア 立川川口9番店 幸町4-38 ☎37-4413	輪 輪 館 柴崎町2-12-17 ☎22-8100
永光 薬 局 柴崎町2-58-7 ☎36-0206	立川 文 庫 高松町2-1-23 ☎25-8617	串揚げ割烹 トントン 柴崎町2-3-3 ☎24-4521
カットハウス ポーグ 柴崎町2-59-8 ☎36-6716	横町屋菓子店 高松町2-11-23 ☎22-2609	寿 司 由 柴崎町2-2-8 ☎22-3733
美容室 アリス 錦町1-15-21 ☎25-1100	新藤青果店 高松町2-3-13 ☎22-6443	ブティック リッチ 柴崎町2-3-10 ☎28-2054
coffee shop 遊香 錦町1-4-24 ☎27-3840	スーパー やなぎや 高松町2-5 ☎22-4322	キャノンショップ 柴崎町2-3-6 ☎28-1501
ステーキのりぷれ 錦町1-8-3 ☎27-1630	フレンド書房 高松町3-18-2 ☎27-1555	マシディハウス 立川川口支店 柴崎町2-3-6 ☎26-0148
そば 青柳 錦町2-1-27 ☎28-2345	やきやき亭 高松町3-21-4 ☎25-6658	カフェレストラン ほまれ屋 柴崎町2-4-15 ☎26-2232
TAPAS 錦町2-2-29 ☎29-0733	DAFE-RESTAURANT TIP-TOP 高松町3-27-27 ☎25-2030	ファッションハウス ほまれ屋 柴崎町2-4-15 ☎25-2788

秋です。澄みきった空の下、お気に入りの上着で街を歩けば、こころなしか背筋がシャキとして、とても清々しい気分になります。千歳船を手にした振袖姿の女の子や、藤ネクタイの男の子に、これらが、思わず微笑んでしまうものもこの季節ならでは。秋は私たちにたくさんの笑顔を見せてくれるようにですね。お気に入りの上着に袖を通して、どうぞ真如苑にお出掛けください。

**真如苑だより**

■日時 11月15日(火) 3時~5時

■御本尊、真如宝徳像をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン(本誌を手渡してくれた人)へ。

真如苑 立川支部

小誌十周年を記念して「われら立川人」を刊行したことを機に「王様の集ひ」(9月14日/於・リーセントパーク・ホテル)を催し積年の謝意として、小誌へ日頃からお心はこびを頂いている人々と、嬉しい夕べもつことが出来た。創刊よりの十年間の歳日を懐かしむ声の中に、これからの「えくてびあん活動」への激励も含まれ、立川人のあたたかい眼差しの中、時の流れも忘れ……。



立川を一つの文化圏として「王国」として表現した「われら立川人」の刊行記念パーティーは、臨場感あふれる「リーセントパーク・ホテル(総料理長)とスタッフ」が腕ふるい、同ホテルで9月14日、7時から開かれた。

集まった人々は、小誌「月刊えくてびあん」の十年間に多大の協力を惜しまなかった人々、約140名、「われら立川人」の中から、立川王国論」を創刊時記者さんが朗読して、秋の風を語り、続いて「ネイチャー・フォレスト」にご登場いただいた写真家の久田雅夫さん、宮城六郎さんがレゾナンスを通して創りあげる世界の情熱を述べる間、立川市長・青木ひさしさんから祝詞が寄せられた(当日、議会議事録に付き欠席)三句のうちの一は、三曲の音色涼しく花菖蒲また、短歌の野村吉茂さんからの一首。

青北風の渡りくる音えくてび  
 青い空深く澄みまきつ  
 十年前、創刊の頃の思い出話を  
 意味深く語ってくれたのは鈴木園  
 郎さん。刷りたての「えくてびあ  
 ん」を立川印刷所社長自ら、ま  
 りで「焼きたてのパン」のように  
 肩に担ぎ運搬してくれた日々は、  
 編集部にとっても懐かしい光景。  
 王様と女王様ばかりのパーティー  
 だけに参加して下さった方、  
 全部の方からスピーチがはまはま  
 た程度が「思ひ」を一句にまとめ  
 て下さり、ミニ俳句大会(選  
 者は谷川水車さん)となり、入選  
 十句は下記の通り。

三田鶴吉さんからも祝詞  
 「よるこびの吾れも輪に居り夜  
 ・王様もさざめく秋のえくてびあ  
 ・夜風やふと行きずりの色ざんげ  
 ・王様と王女の集ひ夜の秋  
 ・立川に生まれ私も女王様  
 ・王様の集ひ楽しエクテピアノ  
 ・わが街の王様揃りつ早十年  
 ・王様が集まってある良夜かな  
 ・秋虹や王と王女のくればな  
 ・秋の夜の五郎の司会少しシャイ  
 (入野フジ子)



**王様、集ふ**

閉会の言葉は谷川水車さん。また「ベスト立川人」展」で会いましょうの声を閉幕となった。

■入選十句

・ 站一匹はす葉のちの味はひも (青藤 武)

・ 王様もさざめく秋のえくてびあ (米村 彬)

・ 夜風やふと行きずりの色ざんげ (ナナメ)

・ 王様と王女の集ひ夜の秋 (石塚孝江)

・ 立川に生まれ私も女王様 (石塚孝江)

・ 王様の集ひ楽しエクテピアノ (米村 彬)

・ わが街の王様揃りつ早十年 (なかにしん)

・ 王様が集まってある良夜かな (原田南海子)

・ 秋虹や王と王女のくればな (澤田正博)

・ 秋の夜の五郎の司会少しシャイ (入野フジ子)

**立川王国論**

はじめて「えくてびあん」をこしらえていた時には、「われら立川人」の刊行記念パーティーは、臨場感あふれる「リーセントパーク・ホテル(総料理長)とスタッフ」が腕ふるい、同ホテルで9月14日、7時から開かれた。

集まった人々は、小誌「月刊えくてびあん」の十年間に多大の協力を惜しまなかった人々、約140名、「われら立川人」の中から、立川王国論」を創刊時記者さんが朗読して、秋の風を語り、続いて「ネイチャー・フォレスト」にご登場いただいた写真家の久田雅夫さん、宮城六郎さんがレゾナンスを通して創りあげる世界の情熱を述べる間、立川市長・青木ひさしさんから祝詞が寄せられた(当日、議会議事録に付き欠席)三曲のうちの一は、三曲の音色涼しく花菖蒲また、短歌の野村吉茂さんからの一首。

青北風の渡りくる音えくてび  
 青い空深く澄みまきつ  
 十年前、創刊の頃の思い出話を  
 意味深く語ってくれたのは鈴木園  
 郎さん。刷りたての「えくてびあ  
 ん」を立川印刷所社長自ら、ま  
 りで「焼きたてのパン」のように  
 肩に担ぎ運搬してくれた日々は、  
 編集部にとっても懐かしい光景。  
 王様と女王様ばかりのパーティー  
 だけに参加して下さった方、  
 全部の方からスピーチがはまはま  
 た程度が「思ひ」を一句にまとめ  
 て下さり、ミニ俳句大会(選  
 者は谷川水車さん)となり、入選  
 十句は下記の通り。

三田鶴吉さんからも祝詞  
 「よるこびの吾れも輪に居り夜  
 ・王様もさざめく秋のえくてびあ  
 ・夜風やふと行きずりの色ざんげ  
 ・王様と王女の集ひ夜の秋  
 ・立川に生まれ私も女王様  
 ・王様の集ひ楽しエクテピアノ  
 ・わが街の王様揃りつ早十年  
 ・王様が集まってある良夜かな  
 ・秋虹や王と王女のくればな  
 ・秋の夜の五郎の司会少しシャイ  
 (入野フジ子)

**えくてびあんの輪**

人があて、街があります。  
 あなたがあて、立川があります。  
 そこにちょっとだけ、えくてびあん/  
 リストのお店にはいつでも えくてびあん!

ぼだい樹 柴崎町2-4-18 ☎28-0556	京樽 立川南口店 柴崎町3-6-2 ☎21-4640	住友銀行 立川支店 錦町2-17-15 ☎22-6171
コマツホーム 柴崎町2-4-6 ☎25-5811	理容ふなやま 柴崎町3-6-23 ☎27-2780	喫茶アパン 錦町2-17-15 ☎27-4479
喫茶キャリー 柴崎町2-4-7 ☎28-2630	多摩中央信用金庫 南口支店 柴崎町3-7-4 ☎28-2211	日の出屋 本店 錦町2-2-18 ☎22-3308
かみゆい処 わ 柴崎町2-4-8 ☎22-8202	酒処喜泉 柴崎町3-7-6 ☎24-0672	第一デパート 8F旅行センター 錦町2-2-25 ☎27-2021
芹沢ガラス店 柴崎町2-4-8 ☎22-3065	和光証券 立川支店 柴崎町3-8-2 ☎24-1321	富士銀行 立川支店 錦町2-4-6 ☎24-3121
小室園 柴崎町2-4-8 ☎22-2894	紀ノ国屋 立川店 若葉町1-13-2 ☎36-1604	あら井齋 総本店 錦町2-5-12 ☎22-2957
立川ミヨ画材 柴崎町2-4-9 ☎22-6065	ふとんの 青木寝商 若葉町1-8-1 ☎36-6833	二木のパン 錦町2-6 ☎22-2278
マエダ文具 柴崎町2-6-2 ☎25-6584	エッソ石油 けやき台ステーション 若葉町2-1 ☎35-3081	三上製菓店 錦町2-8-30 ☎22-3259
くりや 柴崎町2-9-3 ☎23-2590	いなげや 若葉町店 若葉町3-21-1 ☎37-4119	ホワイトハウス フロム中武 錦町2-11-2 ☎25-8558
立川高等技芸学院 柴崎町2-9-4 ☎22-3424	ルミネ立川店 1F受付 錦町2-1-1 ☎27-1411	ばさーじゅ フロム中武 錦町2-11-2 ☎22-1941
ブックスしんあい 柴崎町3-1-1 ☎27-6701	ルミネ立川店 8F受付 錦町2-1-1 ☎27-1411	フロム中武 1F受付 錦町2-11-2 ☎24-7111
松山堂 薬 局 柴崎町3-13-25 ☎22-2550	NTTテレコムプラザ立川 錦町2-1-1 ☎27-4210	ゲンタッキー・フライドチキン 立川駅前 錦町2-12-16 ☎28-2636
こむろ 酒 店 柴崎町3-14-3 ☎22-2613	café パーゼル 錦町2-11 ☎23-3746	トポス 立川店 錦町2-18-18 ☎25-0331
ゴンファンクポ 立川店 柴崎町3-4-2 ☎27-7413	パティスリー パーゼル 錦町2-11 ☎23-3746	パットパットゴルフ 柴崎町2-11 ☎25-2340
かつ 亀 柴崎町3-5-2 ☎25-7647	ロッテリア 立川ルミネ店 錦町2-1-1 ☎24-7433	リーセントパークホテル 富士見町2-1-8 ☎26-3111

**遊びの風景**

僕は小学校4年生。塾と遊びのはさまに立たされた。心揺れる少年。僕の趣味はもちろん遊び。でも悲しいかな、なかなか時間が取れないのが玉に傷。4年生ともなるともう一人前の大人だから、しっかりと勉強している姿を親にも見せたいと彼らの面目もたない。とは言うものの、やっぱり遊びは楽しい。僕のいつもの遊び場は公園。それも近所だけじゃなく、自転車でたっぴばしから街中の公園をまわるのさ。目的は遊び。最近はお父さんたちの次代の様にブランコ、滑り台、砂場なんという単純なもんじゃないやなくて特注なんだぜ。スリルが大切なんだよ。アスレチック遊具っていうんだ。大人もやっとなんか遊具をわかってきたらいいね。たぐさんの公園を、スリルのある遊具を求めてはしごするんだ。大人たちだっけやっけるだろ?は・し・ご。でも、ちょっとまだ物足りないんだな。だつてファミコンを見てよ。次々おもしろい新作が出て来るんだぜ。遊具だつても遊びがあるんじゃないや。お母さんは「もつと工夫するから遊んでよ!」なんて言ってるけど、僕達にはなんせ時間がないんだからね。短時間でくつと楽しめるものが最高な。

でもたまにはもう少し工夫できる遊びもするよ。ちょっと時間がある時は川に行くんだ。でも街中の近くの川はコンクリートで固められちやうて魚がいなんだ。水はきれいで小さい時はジャブジャブ入っておもしろかったけど、最近では歩いてすぐ飽きちやうなんだよ。その点、すこし遠出すれば釣りにばつちりのところがあるんだ。楽しいぜ。なんたつて川も魚も生きているから。戦いが挑めるんだ。どんなエサがよいか釣れるか、どのへんにたぐさん魚がいるか、どう釣を動かしたらいいか。なんか自然に帰ったようなんだ。

そう、自然って言えばもうひとつおもしろい遊びがある。秘密基地。これこそ工夫できる遊びの代表だ。庭の隅や裏庭にたぐさん秘密基地をたぐさん。そのへんの頃合いがむかしむかし。最近では竹やぶや林かなくって、木と木の間、その辺にある板やダンボールを集めてきて、木の枝と枝の間に棒を渡して屋根を作るんだ。下には足用のビニールシートをこっそり家から持って来て、そこをみんなでマンガを読んだりお菓子を食べたりするんだ。僕達だけの世界なんだ。そこだつたらゲームボーイも時間制限なしに出来るんだ。

てなぐあいに、これが僕の遊び場。時々お父さんは、「今の子供は遊ぶ場所があんまりなくて可哀想だよ。昔は自然があつて空地や原っぱがあつて、近所のお兄さんたちも一緒に遊んでたよ。なんで言うけど、僕たちは昔のことなんか知らないし、勉強の合間だけ、これでも結構楽しんでるんだぜ。」

当世子供遊び事情を、少々こまじやくれた子供になりかわつてとらえてみた。大人の言うことを聞きつつも、現代の子どもなりに街を遊ぶ彼ら。大人たちの見えないところ、知らないところを何を考え何をしているのか、仕事柄たぐさんの地域でたぐさん子供たちをに会い、話を聞き、共に遊んでみると、正直な彼らの気持ちがおぼろげながら見えてくる。家にもつてばかりで全然外に出ていない様に見える子供たちではあるが、意外とたくましく遊んだり、しかしその遊びをじっくり観察していると飽きっぽかったり、と。昔と今では、場も人も時間も含めた環境が大きく変わっているから比べようもないが、「遊びの質が徐々に希薄になりつつあることは確かだ。昔と今、どちらが良いとは言えないが、私達大人も昔は遊びはじめていた子供だつたことを忘れなことが大切な気がする。」

**向田敏子のひとり語り「橋のない川」**

声楽家の向田敏子さん(羽衣町)が、その豊かな感性で綴り当てた一つの世界。それが「ひとり語り」です。大河小説、住井すゑの「橋のない川」を奥深く語る一夜。どうぞお出掛け下さい。

日時: 11月24日(木) 午後7時  
 会場: アミューたちかわ小ホール  
 全席指定 ¥2,500  
 問合せ: 0425-23-2048 (向田)

**月刊「えくてびあん」第124号**

平成六年十一月一日発行  
 発行所: えくてびあん編集部  
 東京都立川市堀町2-17-5  
 杉田ビル6F 1F 105  
 電話: 0425-23-1715  
 FAX: 0425-23-1032  
 編集発行人: 立井啓介  
 印刷所: 株式会社 大塚社

**表紙は語る**

まいあーと 墨遊画  
 「水を汲む女」 by 酒井昭尚

水墨画を始めて十年余、酒井昭尚さん(9月)は、フロム中武のギャラリーで「墨遊画展」と題した個展を開いた。今までも数々の作品展に入賞していた酒井さんだが、単独の個展は今回が初めて。水墨画と聞くと、いわゆる「山水」の世界を思い浮かべるが、酒井さんの作品はそれよりも身近で、誰にでも受け入れられる温かさが感じられる。水墨の大胆な筆使いはそのままに、水彩画のような柔らかさ。自身の作品を「墨遊画」と称する理由はそのあたりにあると見た。それにしても「墨遊画」。なんと優しく、いい言葉だ。

**東風**

本誌十周年を記念の別冊をこしらえ、多くの方々に読んでいただけたこと、至上の喜び。この間、商業雑誌を編集している人から「立川だけで、よくこれだけのものが編集できるねえ」と云われ、まだ地域への認識が浅いのだから、つくづく思った。十年前なら立川にはたぐさんの人材に恵まれてますね、と云われれば、そうでしょうかねえ、と済ませてしまふ今日では、当然です。胸を張ることである。一時代前に「地方の時代」と呼ばれたが、熱しやすく冷めやすい国民性がこにも現れて、ケロッとしているが地域の毅然たる存在は何の変化もない。地球規模で見れば、日本は「極東」で、北緯35度の緯度帯に属する。

**「マイバンク」がパートナー**

心のふれあいを大切に  
 ハートの銀行  
 ◎第一勧業銀行

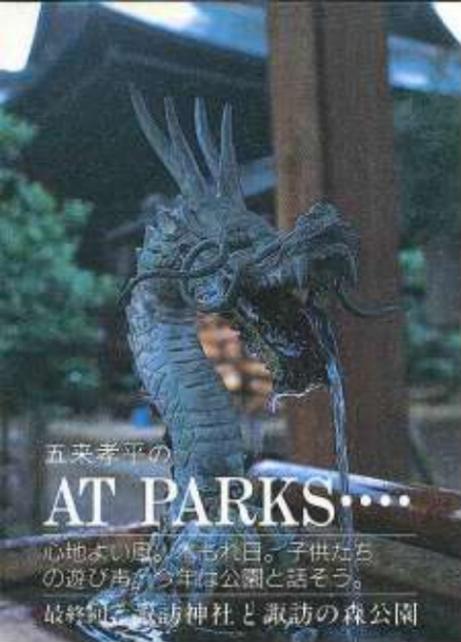
おかげさまで、一周年。今後とも一層のお引立てのほど、よろしくお願ひ申し上げます。

**ウォッチング**

ペットの糞には「ペット」ボトル?  
 近頃、道端に水の入ったペットボトルが2本3本と並べられている光景を目にする。どうやら犬や猫の「そそり除け」に効果があるという噂が、こんな状況を巻き起こしているようである。専門家は「効果のほどは期待できない」と言っているが、近くに住む人にとってはペットのフン害は深刻。排糞をやめさせることよりも、むしろ飼主の無責任さに対する無言の警告のようにも見える。

**WATCHING**

アムス株式会社  
 立川市柴崎町2-17-23 TEL(28)0328



五夫孝平の

# AT PARKS....

心地よい庭。なもれ目。子供たちが  
の遊びあぐり年は公園と話そう。

最終回「諏訪神社と諏訪の森公園



いにしえから変わらぬ眼さして、「お諏訪さま」は  
街を見守り続けている。改修が進む諏訪の森で遊ぶ  
こともたちも、おとなになればさつと、懐かしい  
場所として、「お諏訪さま」の名をあげるだろう

